

児童・生徒の実態

- ・ ひらがなを読むことに慣れていない児童に対しての支援

☆手立て・合理的配慮

<絵をもとにカードの字を読む>

最初は、カードを見ながら子どもと一緒に話を楽しむような感覚で行い、子どもに字への興味をもたせる。

カードの練習に慣れてきたら、「うまはどれかな？」などと言って、クイズ形式で練習を行う。



<カードの絵を小さくする>

絵が大きいカードで自信がついてきたら、字を見て答えさせるために絵を少しずつ小さくする。

読めたときに「絵が小さくてもちゃんと答えられたね。」とほめることが大切。

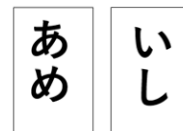


<ひらがなあてっこゲーム>

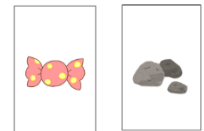
カードを表の状態にして、「あめのカードはどれかな？」と言って当てさせる。カードをめくって、あめの絵が出たら、「当たり。」と言ってほめる。

最初はカード2枚くらいから始め、慣れてきたら10枚くらいまで増やす。

<表>



<裏>



支援を受けてみて

- ・カードを見ながら先生と話やゲームができて楽しかったです。（本人）
- ・子どもの知っている言葉から練習をしてもらうことで、興味をもって楽しく学習をすることができてよかったです。（保護者）